

## ■メッセージ①

# 《この困難な時期に仏陀の教えから 生きる上での指針を考え直す必要があります。》

## 潘基文(パン・ギムン)国連事務総長からのメッセージ

ウェーサクの日は仏陀の誕生、成道、涅槃を祝う喜ばしい行事です。この日、仏教徒も非仏教徒とも一様に仏陀の生涯と教えに思いを巡らせ、仏陀の教えから生きる上での指針を考え直す必要があります。

不幸なことに、今年のウェーサク祭は困難で辛い喪失を伴う時期に当たってしまいました。サイクロンがミャンマーを襲い、大規模な地震が南西中国一帯を揺るがせました。この二つの災害が想像も付かない苦しみを生む結果をもたらしました。何万人もの人々が命を奪われ、さらに多くの人々が家族、住居、生活用具を失いました。

この途方もなく大きな悲劇の間の中で、すべての本質としての平和、慈悲、愛を説く仏陀のメッセージは至急に求められるものでしょう。それは我々の心を開き、また、我々人類の仲間、特に必要としている人々に伝えられるべきものです。それは本質的に我々が一体であることを認めるよう、また、すべてのコミュニティや全人類の幸福は我々自身の幸福の一部なのだということを認めるよう求めます。これら永遠の教えはミャンマーの状況に対して手を差し伸べるように国際社会を導くのです。

それらはまた、世界が直面する難問を解決する努力を惜しまないように我々を鼓舞するのです。すべての地域における環境保護を進展させる上での平和と安全を考えると、我々は恵まれない地域の限られた利益を認識し、国際社会のメンバーとして取るべき行動について考えるべきです。これは悟りのひとつであり、すべての人々にとってよりよい世界の基盤となるものです。

このウェーサクの日に、本質的な自立を獲得することを支持しましょう。全人類にとっての共通の利益と発展向上のために共に努めることを誓いましょう。私は皆さんがこの考えに賛同して下さることに感謝すると共に、皆さんの式典のご成功を祈ります。ご清聴有難うございました。



潘基文(パン・ギムン)

## ■メッセージ②

### メッセージ

# 2008年国連ウーサクの日に寄せる タイ王国首相 サマック・ストラウエート閣下からの祝辞

仏教徒にとって最も神聖な日の一つであるウーサクの日は陰暦6月の満月の15日にあたります。この陰暦の特別な日は、お釈迦様の一生の中の三つの大きな出来事を表しています。お釈迦様の誕生、悟り、そして入滅、これらがすべて、奇跡のようにウーサクの日に当たっているのです。人類の間の慈悲と平和と寛容を強調するお釈迦様の教えは、2500年以上にわたって、いつも変わらず適切なものであり続けています。

仏暦2551年/西暦2008年のウーサクの日を祝うために、タイ政府は政府のすべての省庁と全国のすべての仏教団体に宗教的な活動を行うよう奨励しています。その目的は、日常生活の中でお釈迦様の教えを遵守することに注意を喚起することです。これらの活動は、人々が善い行い、善い行動に励み、生活の中で幸福と平安を達成するために互いを思いやる気持ちを愛するよう手助けをすることも目的としています。

2551年の国連ウーサクの日というこの時に、私はこれらの重要な活動を支援できることを嬉しく思います。また、すべての活動を実行した政府のすべての省庁にお礼を申し上げたいと思います。これらの活動が全ての人類の日常生活に平穏をもたらすことができる仏教教義の知識と理解を広める助けとなることを願っております。

**タイ王国首相  
サマック・ストラウエート**



## ■メッセージ③

### 国連ウェーサクの日

仏教を信じるタイ国民を代表して、私は、大僧正猗下とすべての仏教指導者の皆様を喜んで歓迎致します。また、タイ国に、ブッダモントンで行われる 2008 年国際ウェーサクの日の会議に参加する名誉を与えてくださったことに感謝致します。

タイ国民のほとんど、およそ 93%が仏教徒であり、そのことが、古代より今日までタイの社会を幸福で平和なものにしてきました。

今年のウェーサクの日というめでたい時に、政府は、2005 年以来、最高長老会と様々な国の仏教指導者達の会議を主催し開催する場としてこのブッダモントンを使ってこられました。会議の決議で、タイの式典をブッダモントンで行い、世界仏教センターとマハチュラロンコーン仏教大学の事務局と国際組織委員会 (IOC) が協議して式典を準備することが決定されました。

大僧正と仏教指導者の皆様を再びお迎えすることは名誉であり大きな喜びです。世界の様々な国々から来られた仏教徒の皆様それぞれの間の協力がさらに強まりますようお願いしております。また、私は、この会議がダルマ—仏陀の教えへの理解を生み出し、人々の日常生活にその教えをもたらし、世界の市民に平和をもたらし、その結果、全世界の仏教徒が一層仏教への信仰を強めることを願っております。

タイの仏教徒を代表して、私は、皆様のお国の仏教徒の皆様にご挨拶を申し上げます。皆で、私達の信じる仏教を広め普及させる手助けを致しましょう。また、皆様が、ここブッダモントンの世界仏教センターで、快適に過ごされますようお願いしております。

**チュラト・ブーンヤコーン**  
**タイ国・国家仏教事務局長**